

公開シンポジウム「体育・スポーツの社会貢献への可能性を問う」

1. 主 催 日本学術会議健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会、
日本スポーツ体育健康科学学術連合、
日本体育学会
2. 日 時 平成22年9月9日(木) 15:15～17:15
3. 場 所 中京大学豊田キャンパス4号館411教室 愛知県豊田市貝津町床立101)
4. 開催趣旨：
1970年代以降、スポーツは社会の中で市民権を獲得し、社会的にも極めて重要な存在になったといわれて久しい。しかし、一方では医療費の増大やコミュニティーの解体、子どもの体力・健康問題やいじめなどを眼前にする時、社会や国民の体育やスポーツへの期待に十分に応えているとはいえない現実がある。
これらの問題意識をもとに、本シンポジウムでは、スポーツ政策、国際競技力、子どもの健康・体力問題、学校体育と地域問題の各側面から体育・スポーツの社会に果たす顕在的かつ潜在的な可能性を考えるとともに、広義の体育学やスポーツ科学のアカデミズムが果たし得る社会貢献の可能性を考える。
5. 次第：
 - 主催者挨拶
福永 哲夫（鹿屋体育大学学長、日本学術会議会員、(社)日本体育学会会長）
 - 趣旨と進行の説明
司会：友添 秀則（早稲田大学スポーツ科学学術院教授、日本体育科教育学会理事長、日本スポーツ体育健康科学学術連合運営委員）
 - 講 演
 - (1) 体育とスポーツへの期待～スポーツ立国をめざして
鈴木 寛（文部科学副大臣）
 - (2) 国際競技力向上の意義と社会貢献
勝田 隆（仙台大学体育学部教授、JOC強化本部常任委員会委員）
 - (3) 子どもの健康・体力問題とこれからの社会
福林 徹（早稲田大学スポーツ科学学術院教授、日本学術会議連携会員、日本体育協会子供の体力向上プログラム委員）
 - (4) 地域・学校・世界をつなぐ体育・スポーツの可能性
松田 恵示（東京学芸大学教授、文部科学省生涯学習調査官）
 - 質疑と討論
 - 閉会の挨拶
友添 秀則（早稲田大学スポーツ科学学術院教授、日本体育科教育学会理事長、日本スポーツ体育健康科学学術連合運営委員）

★参加費無料、事前申し込み不要です。

会場で、「シンポジウム参加希望」とお伝えください。受付で住所・氏名等をご記入していただきます。

★連絡先：

日本体育学会61回大会事務局

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101 中京大学体育学部

TEL/FAX 0565-46-1511

E-mail office@jspehss61-chukyo.com